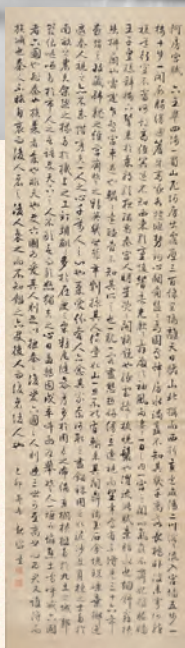




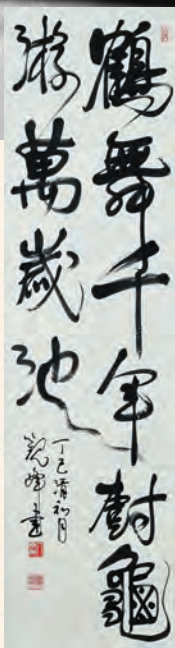
日本習字創立者 原田観峰 没後30年展覧会 in 東京

生誕の地、瀬高 ～書道教育を通して拡げた輪～

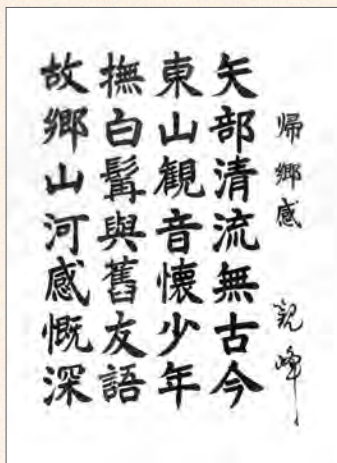
福岡県の瀬高町(現みやま市)で生を受けた書家であり教育家、原田観峰(本名、孝太郎、1911-1995)は、のちに国内最大級の書道団体「日本習字教育財団」となる「西日本書道通信学会」を創立しました。没後30年を迎えた令和7年、観峰の原点や書を通して人々の心に刻まれた面影を書作品とともに故郷のみやま市で振り返りました。展覧会への反響やご要望を受けて、今回観峰が生まれ育った瀬高から東京に会場を移して展示します。観峰が書道を通して拡げた「輪」をぜひ体感してください。東京時代に揮毫した作品から、日本習字創立後に講座で全国各地を巡っていたころまでの作品を中心に、東京展用として構成した約20点を展示します。



昭和14年(観峰28歳)



昭和52年(観峰66歳)



昭和55年頃(観峰69歳頃)



昭和20年(観峰34歳)



★東京初公開

4メートル超の拓本は必見です

会期 令和8年1月24日[土]～1月25日[日]

- 1月24日[土]10時～16時30分(最終入場16時)
- 1月25日[日]10時～15時30分(最終入場15時)

会場 日本習字教育財団 東京研修所
(東京都千代田区九段北4-2-11 第2星光ビル5階)

東京研修所
交通アクセス



※おひとり様1点

アクセス JR総武線・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」下車、徒歩2分
都営新宿線「市ヶ谷駅」下車、徒歩1分

プレゼント
企画

各日先着50名様に本展限定オリジナルノベルティプレゼント!

入場料 無料

- 内容
- 1.原田観峰回想コーナー
 - 2.原田観峰書作品展示(約20点)
※展示作品は福岡県みやま市で開催(令和7年6月)したものの一部を除き同じです。
 - 3.展示作品解説(午前・午後予定)
 - 4.手本のあゆみ
 - 5.映像コーナー

▼主催・お問い合わせ先

公益財団法人 日本習字教育財団 没後30年企画係

TEL.092-721-4774 (平日 9時～17時)

e-mail: ns_kikaku@nihon-shuji.or.jp